

東中野駅西口の桜に関する樹木診断結果について

東中野駅西口の桜に関する樹木診断結果がまとまったので、次のとおり報告する。

1. 樹木診断について

(1) 調査対象樹木 39本

(2) 診断実施日

- ・外観診断 平成28年11月15～17日、12月6日・8日
- ・精密診断 平成28年12月6日・8日

2. 診断内容及び結果 (別紙 位置図参照)

(1) 外観診断 樹勢、樹形、腐朽、空洞、病害、虫害、生育地の周辺との関係や影響

(2) 精密診断 樹木診断機器を使用して根株内部の腐朽や空洞を測定

これらを総合的に判断して4段階で評価した。

総合判定		処置の方針	結果
A	健全か、健全に近い。	必要なし。	0本
B1	注意すべき被害が見られる。	長期での観察を行う。	14本
B2	著しい被害が見られる。	短期での観察を行う、必要に応じて伐採。	9本
C	不健全。	伐採。	16本

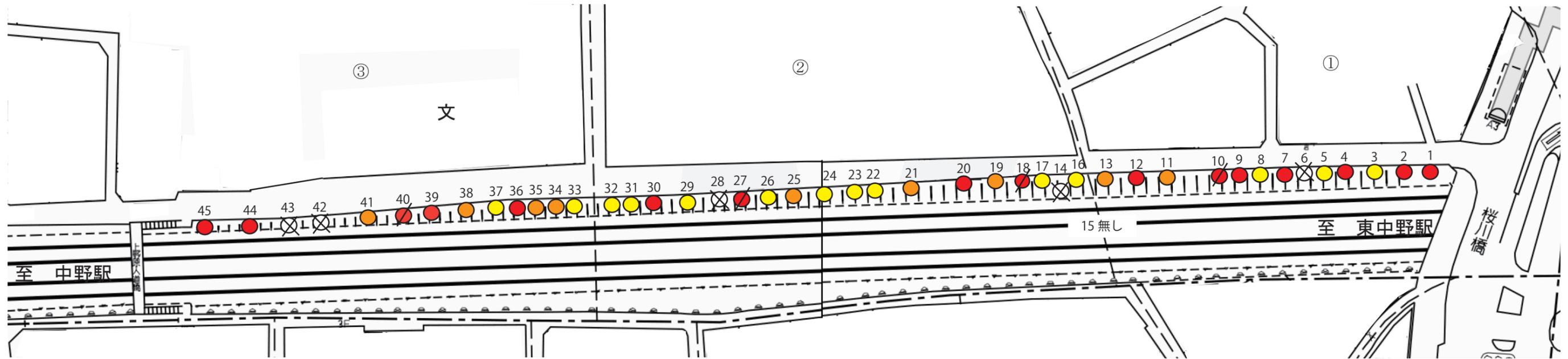
3. 今後の予定

- ・診断結果の地域説明会 5月下旬
- ・樹木伐採作業 7月～
- ・法面上部の景観整備方針の検討 6月～12月

樹木総合判定位置図 (外観診断・精密診断総合判定)



東中野三丁目



凡 例

東中野二丁目

健全度判定		地上部状況	
● A	(健全か健全に近い)	○	通常状態
● B1	(注意すべき被害が見られる)	⊗	半伐採状態
● B2	(著しい被害が見られる)	⊗	伐採済み
● C	(不健全)		